

× 契(ちぎり)通信VOL.231

2025年5月28日発行

株式会社チキリ 社長室編集

なんだ・かんだ

◆ 2026年度静岡県上場企業の業績見通しから ◆

先週日経新聞の地域欄に、静岡県内の上場企業の業績見通しについて掲載されていました。今期末2026年3月期の予想では、製造業を中心によく約45%の企業が減益を見込んでいます。大きな要因は、米国との関税交渉の不透明さと、中国市場の需要低迷です。このダブルパンチが企業業績に重くのしかかっているということです。

例えばスズキは、関税や景気減速の影響で利益が約400億円減る見通しですし、クラッチ製造のエフ・シー・シーのように見通し自体を発表しない企業も出ていました。更にヤマハや車用ミラーの村上開明堂などは、関税の影響を見通しに織り込んでいませんでした。

一方で、こんな厳しい状況の中でも成長している企業が紹介されました。ツナ缶のトップブランド「シーチキン」で有名なごろもフーズは製品価格の見直しで利益を大きく伸ばし、産業廃棄物処理のミダックホールディングスや物流のハマキヨウレックスは積極的なM&Aで業績を拡大しているそうです。

上場企業でも読み切れない現在の為替や米中の経済動向等の世界的な外部環境の変化は、我々のような中小企業にも大きな影響があるはずです。為替が円高に振れ、更に中国市場の不調が続ければ、特に輸出型のお客様の業績が悪化して、引いては当社の様な会社へも影響が出て来るることは想像に難くありません。

こうした外部環境に左右されない企業の強さは、「攻め」の姿勢から生まれていると思います。私たち中小企業も、先の見えない不確実性の強いVUCAの時代に守りに入るのではなく、常に前を見て行動することが大切だということです。

今後の方針として、一つは市町村、食品、医療、レジャー業界など「内需型」で景気の変動が余りない業種の得意先開拓です。地元企業との取引の強化や、一次産業や観光等、静岡県東部という地域性を考えた当社にとって新しいチャネルの創造です。

二つ目は、価格改定とコスト構造の見直しです。これまで、取扱いメーカーの値上げに付いては、お客様に価格転嫁をお願いして参りましたが、自社の人件費や運賃などの経費増についても、お客様に認めて頂く様にして行かなければなりません。

三つ目は、デジタル化・省人化による構造改革です。今後共人手不足が続く中、DX（デジタルトランスフォーメーション）は中小企業にも不可避です。先日遅まきながらチャットGPTの有料版を登録しDLしました。使いこなすのは難しいですが、一部の業務の効率化に役に立ちそうです。

大変難しいことですが、この様に外部環境の不安定さが増す中、守りに入るのはなく、変化に対応し、攻めの姿勢を維持することが中小企業の生き残りに不可欠です。

この記事を社員と共有し、小さなことでも積極的に挑戦する努力を重ねていくことが重要だと話をしました。

不確実な時代ですが、行動を止めなければ、必ずチャンスはつかめるはずです。

■ 浮上油回収装置（シースルーセパレーター） ■

日本ホートンの製品で、金属加工油、洗浄液、各種水溶性処理液から金属異物や、混入油分を除去する装置です。

本体が透明の樹脂で、分離油分の状況が確認できます。また、不要な油分だけを除去し有用な加工液・洗浄液は除去しません。

更に本体は、書類ケース並みの小ささで、中に溜まる液量は10リッター以下で少なく、洗浄もしやすい構造で、取り付けも簡単、場所を取りません。

ご興味のある方は是非当社担当にお問合せ下さい

まだ5月だというのに30℃を越え、先日熱中症で高齢の方が亡くなつた事がニュースになつていました。このような異常気象が世界中の課題となつていて、気候変動に批判的なトランプ大統領は、「昨年のCO₂濃度が前例のないほど上昇した」という情報の詳細を国民に伝えようとせず、これまでの気候変動の重要な観測データの保存すら辞めようとしているそうです。

「ボーン・イン・ザ・USA」で有名な米歌手、ブルース・スプリングスティーンがトランプ氏を「不適格な大統領」と批判し、トランプもスプリングスティーンさんを「干からびたブルーイン（ドライフルーツ）のようなロッカーダ」と批判合戦になつているという記事が出ていました。この様な草の根から彼の暴挙を止めてくれる救世主が現れないか、心より期待しています。

昨日のNHKの特集でも、車の部品製造にかかる企業の経営者が、トランプ関税が実際に発動された場合の影響について危惧していました。曰く「得策はありません。出来る事をやるだけです」

代表取締役
服部 勲一郎

またまたトランプ批判

社員ブログ

● 図書館へ ●

営業一課 河口祐一郎

最近の土曜日は子供たち3人と図書館に行くことが多いです。図書館へ行き本を借りて2週間後に返却へ行くという流れが出来ています。

一番上の小5の娘は歴史上の人物の伝記。真ん中の小3の娘は恐竜や星の物語の本。一番下の幼稚園の息子はノンタンの絵本シリーズをそれぞれ借りています。たまに図書館でシーズン物や特集スペースから借りることもあります。

前述のようにそれぞれお決まりの借りる本があるため用事で誰かがいらない時に代わりに私が選び、借りて帰ることがあるのですが、いつも借りているシリーズのはずなのに違ったのがあるようで進んで読んでくれないことがあります。

特に私が子供の頃に読んで面白かった本を紹介するのですが、プレゼン力が足りないせいか全くと言って良いほど読んでもくれません。

本嫌いではないのは良いことですが、親としてはいろいろなジャンルへ興味を広げ少しでも多く読んで欲しいところです。（私の知らないところではいろいろと読んでいるとは思いますが。）



上の子は年齢的にもうすぐ一緒に出掛けることも少なくなると思うので一緒に出かける時間を大切にしつつ他ジャンルの本も紹介できればと思います。

本レターのご提供に付きまして、ご不要・ご迷惑という方に付きましては、その旨ご一報頂きたいと思います。次回からの発送を中止させて頂きます。

株式会社チキリ

静岡県駿東郡清水町卸団地73

Tel 055-971-9610 Fax 055-973-1534

E-mail gen@chikiri.com URL http://www.chikiri.com/